

## 水稻の生育状況と今後の管理対策（第2号）

令和6年6月11日  
新潟県農林水産部

### 〔6月10日現在の県内全域の生育概況〕

- ◎ コシヒカリでは指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「並」、葉数の進みは「並」、葉色は「やや淡い」状況です。
- ◎ コシヒカリの茎数は、県の調査ほ（田植日の平均は5月11日）の平均値では213本/m<sup>2</sup>（目標穂数350本/m<sup>2</sup>の61%）となっており、数日で中干し<sup>\*1</sup>開始の適期に入ると見込まれます。
- ◎ 新之助では指標値に比べ、草丈は「並」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「やや遅い」、葉色は「淡い」状況です。

\*1 中干し（なかぼし）：田の水を落として、一時的に田を乾かすこと。

### 〔気象予報と今後の生育見込み〕

- ◎ 6月6日発表の北陸地方1か月予報（6月8日から7月7日）は、平均気温は高く、降水量と日照時間はほぼ平年並みと予想されています。また、5月21日発表の3か月予報（6月から8月）では暖かい空気に覆われやすいため、気温は高いと予想されています。
- ◎ 今後も気温の高い傾向が続く見込みであることから、茎数の急増が予想されます。

### 〔今後の管理対策のポイント〕

#### コシヒカリ

- ◎ 今後、茎数の増加が加速し、5月中旬以降田植えのほ場においても、中干し開始の適期に入ると考えられることから、ほ場でただちに生育を確認し、遅れずに中干しを開始してください。
- ◎ 高地力など、生育が過剰となりやすいほ場では早めに中干しを行い、茎数の増加を抑えてください。
- ◎ 中干しの効果を高め、フェーン等の異常高温時に速やかなかん水が行えるよう、溝切りを必ず実施してください。
- ◎ 夏季の高温に備え、後期栄養が不足しないよう穂肥等の準備をしましょう。

#### 新之助

- ◎ 茎数が増えやすい品種特性があります。茎数をこまめに確認し、目標穂数の7～8割の茎数となったら、遅れずに中干しを開始してください。
- ◎ いもち病に弱いことから、箱施用剤を使用していない場合は、必ず葉いもち防除を行ってください。補植苗は、葉いもちの伝染源になるので、ただちに除去してください。

◎ 今後の管理対策発信予定日 7月2日・11日・19日・26日、8月21日・30日

## 〔補足資料〕

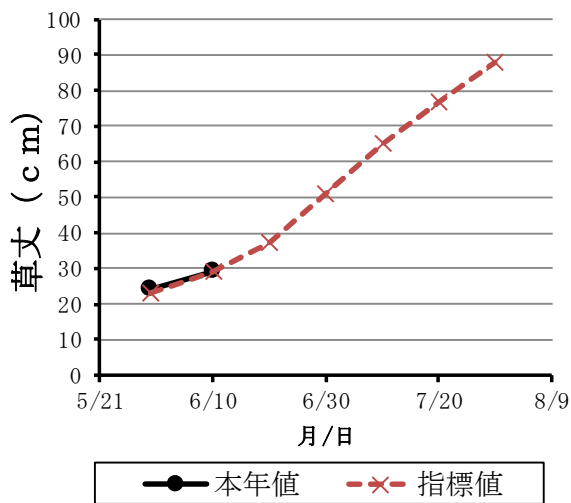
### 1 農業普及指導センター及び作物研究センターの生育状況（6月10日現在）

#### コシヒカリ

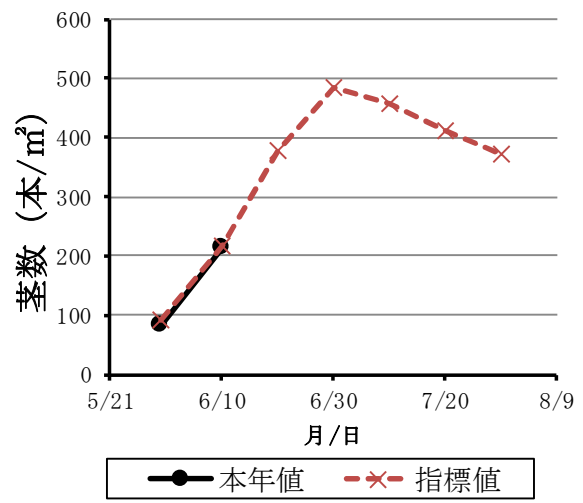
○ 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「並」、葉数の進みは「並」、葉色は「やや淡い」です。

項目	本年値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	<b>29 cm</b>	29 cm	並	100%
茎数	<b>213 本/㎡</b>	217 本/㎡	並	98%
葉数	<b>7.1 葉</b>	6.9 葉	並	+0.2 葉
葉色 (SPAD 値)	<b>35.4</b>	36.5	やや淡い	-1.1

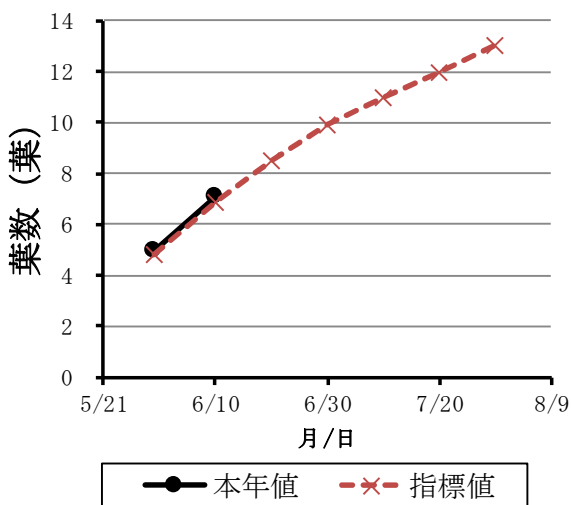
注) 県内全域の15生育調査ほデータの平均値（田植え5月11日、栽植密度16.9株/㎡）



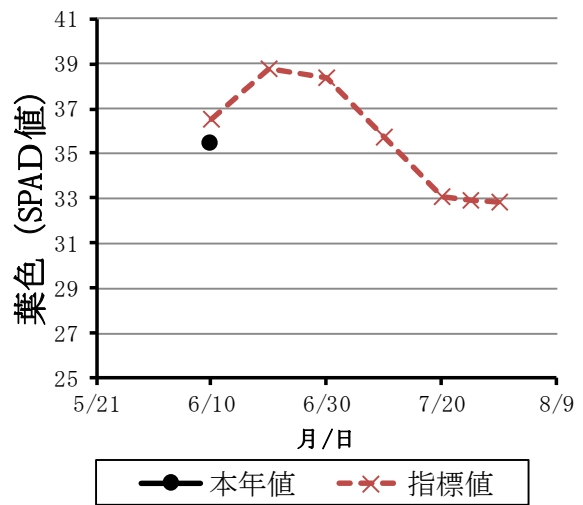
草丈の推移  
(県全体)



茎数の推移  
(県全体)



葉数の推移  
(県全体)



葉色の推移  
(県全体)



- ◎中干しの強さは、小ヒビが入り、軽く足跡がつく程度とする。
- ◎ただし、生育量が指標値に比べ大きいほ場では、早めに中干しを行い、茎数の増加を抑える。



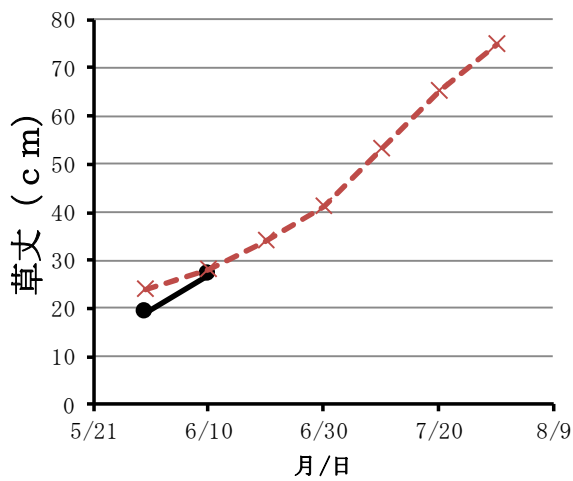
- ◎乾かしすぎて大ヒビが入ると、根が切断されたり、発根が抑制される。
- ◎高温が続き、田面に大きなヒビが入ることが想定される場合には、走り水かん水を行う。

## 新 之 助

○ 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「やや遅い」、葉色は「薄い」です。

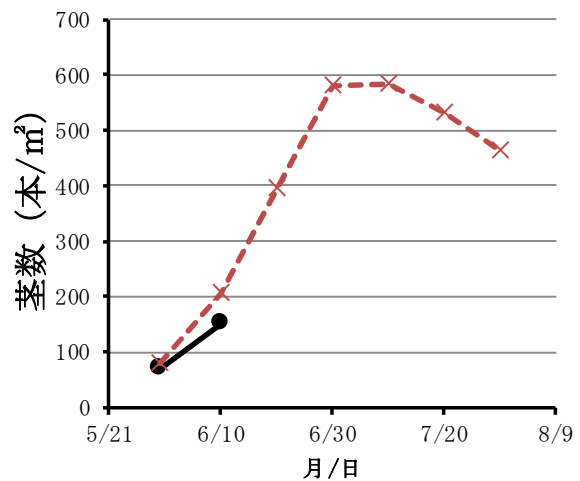
項目	本年値	指標値	指標値との比較	指標値比・差
草丈	27 cm	28 cm	並	96%
茎数	152 本/m <sup>2</sup>	207 本/m <sup>2</sup>	少ない	73%
葉数	6.2 葉	6.8 葉	やや遅い	-0.6 葉
葉色 (SPAD 値)	32.4	36.2	薄い	-3.8

注) 県内全域の 15 生育調査ほデータの平均値 (田植え 5 月 18 日、栽植密度 16.6 株/m<sup>2</sup>)



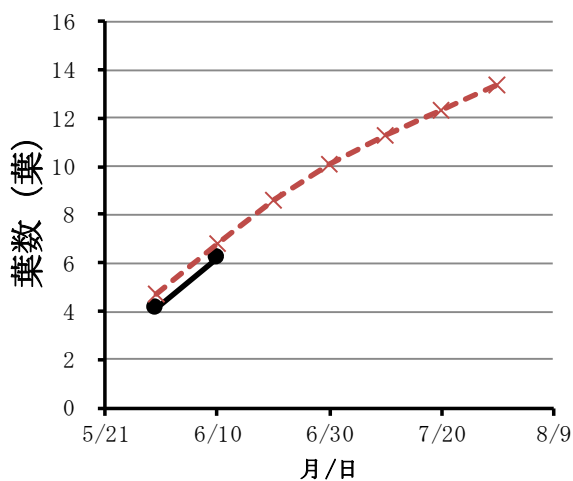
● 本年値    -x- 指標値

草丈の推移  
(県全体)



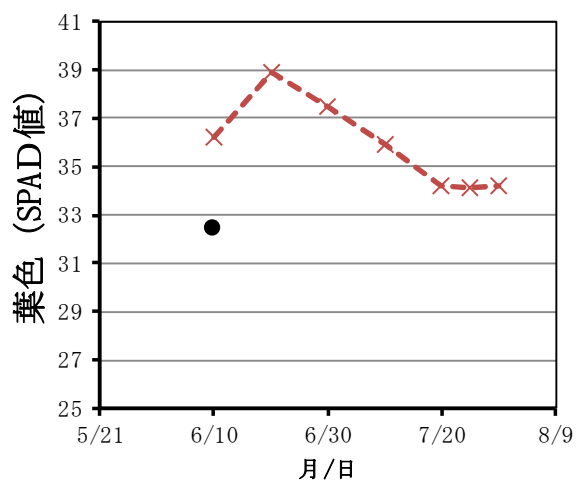
● 本年値    -x- 指標値

茎数の推移  
(県全体)



● 本年値    -x- 指標値

葉数の推移  
(県全体)



● 本年値    -x- 指標値

葉色の推移  
(県全体)

## こしいぶき (参考)

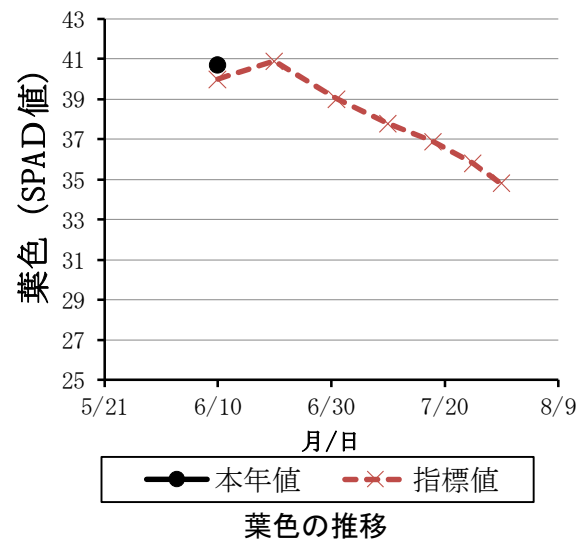
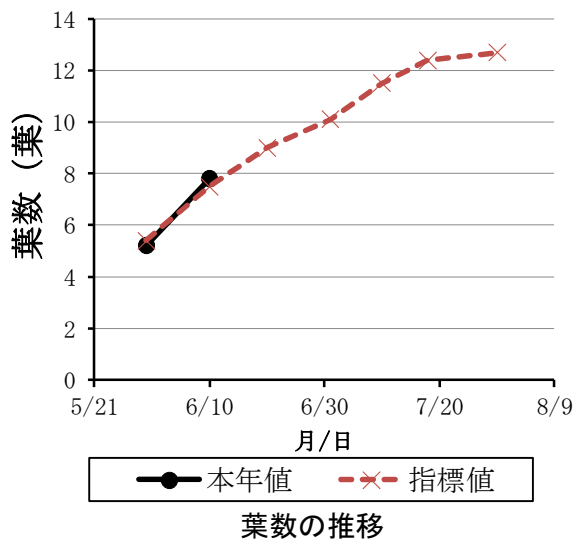
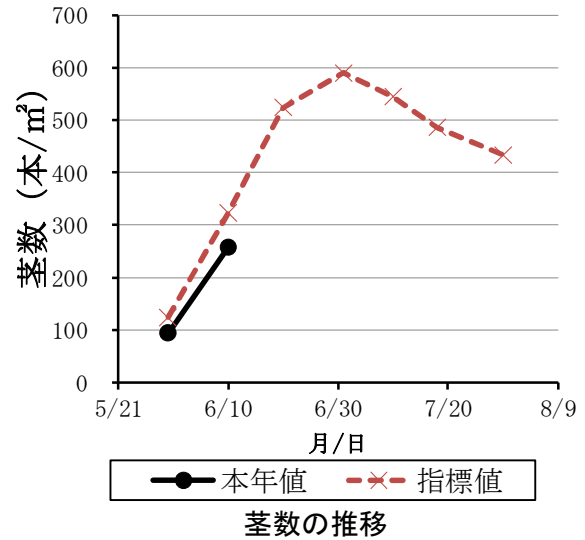
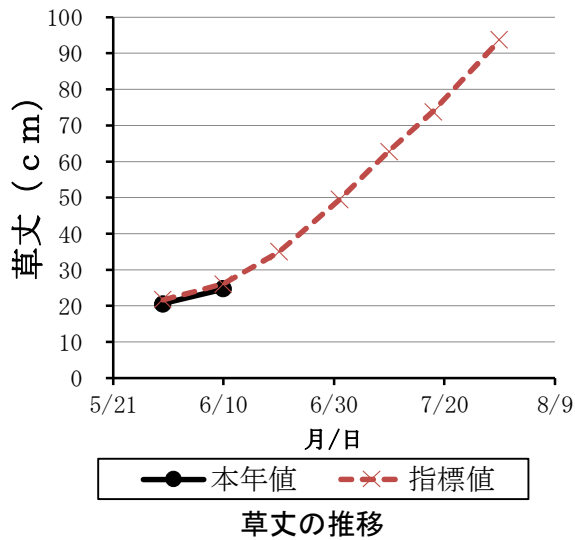
○ 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「やや短い」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「並」、葉色は「並」です

項目	本年値	指標値	指標値との比較	指標値比・差
草丈	25 cm	26 cm	やや短い	95%
茎数	258 本/m <sup>2</sup>	323 本/m <sup>2</sup>	少ない	80%
葉数	7.8 葉	7.5 葉	並	+0.3 葉
葉色 (SPAD 値)	40.7	40.0	並	+0.7

注1) 化学肥料栽培。田植え5月10日、栽植密度18.1株/m<sup>2</sup>

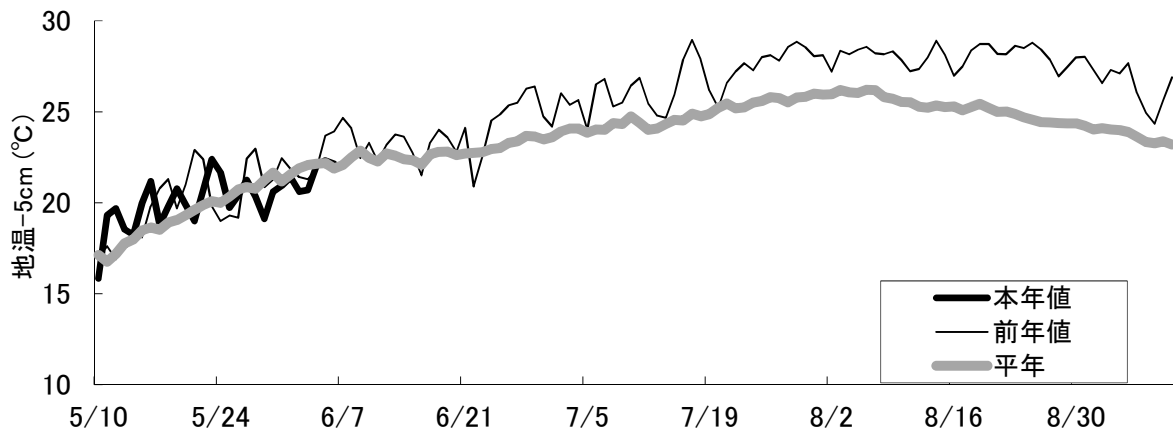
注2) 基肥窒素成分量 3.0kg/10a

注3) 長岡市長倉町（作物研究センター）の生育調査ほデータ

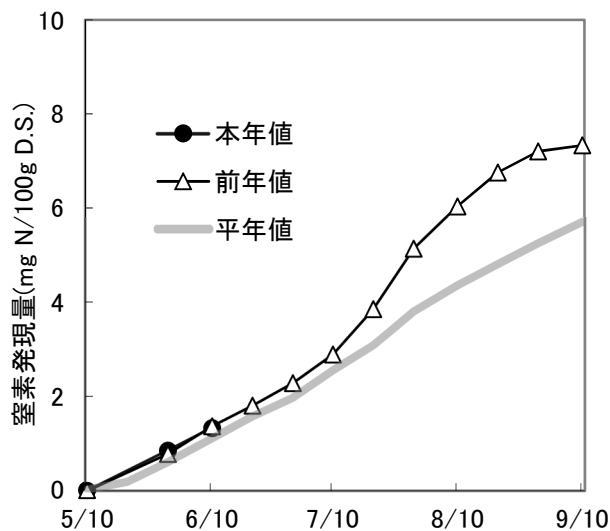


## 2 ちりよく 地力窒素の発現状況

- 5/28～6/7 の期間の日平均地温は平年差-0.7℃で平年並みに推移しました。この期間の地力窒素発現量は平年並みでした。条間窒素含量は6/7時点で平年よりもやや高くなっています。

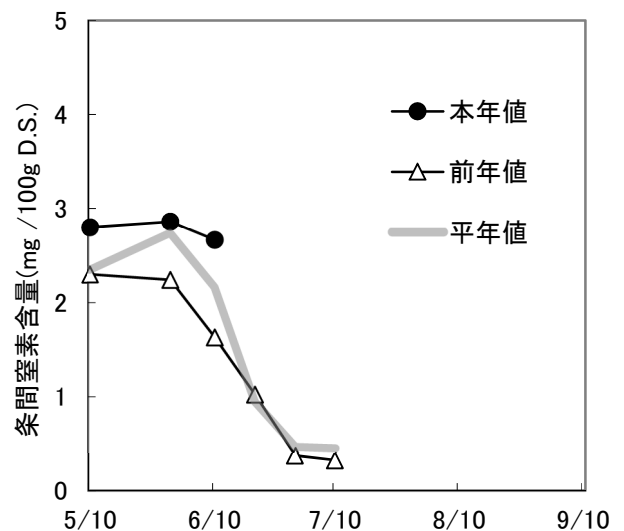


水田地温（5 cm 深）の推移  
（農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査）



地力窒素発現量の推移（6月7日）  
（農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査）

初期値=0、田植日：5月10日、化学肥料栽培  
基肥窒素成分量：3.5 kg/10a



条間窒素含量の推移（6月7日）  
（農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査）

田植日：5月10日、化学肥料栽培  
基肥窒素成分量：3.5 kg/10a